

令和 6 年度特色ある学校づくり推進事業報告書

学校番号（ 4 3 ） 学校名 豊田市立平和小学校

1 テーマ

「ふるさと大好き！ 平和小、大好き！」

～地域のよさに気づき、豊かな自然環境を大切にする子を育む体験活動や交流学习～

2 ねらい

- ・本校創立以来、学校北側に広がる「平和の森」や近隣の里山において、子どもたちがその豊かな自然に浸り、心に響く体験をもとにした深い学びを展開する。
- ・生活科や総合的な学習の時間をはじめとする教科・領域、そして学校行事において身近な自然を継続的に活用することで、子どもたちに学校の里山として愛着をもてるようにする。
- ・地域学校協働本部の事業によって、本校学区に潜在する地域の方々の人的な力による支援を学校づくりに活かす。
- ・地域に学ぶことや小渡小学校との都市と山間の教育交流等を通して、この地域の良さを知り、将来にわたって地域に関わろうとする意欲を育む。

3 活動内容

（1）平和の森での体験活動

- ・生活科の学習において、校内で見られる草花を観察したり、昆虫を捕まえて飼育したりしながら、身近な自然への関心を高めながら学習を進めた。（1・2年生）
- ・理科の学習において、樹木の生長や花のつくりについて観察し、身近な植物に興味をもったり、季節の変化を感じたりしながら学習を進めた。（4年生）
- ・特別活動の時間に、平和の森の果物の収穫をした。秋に3・5年生が栗の実拾い、12月には4年生を中心にミカンを、2月に6年生を中心にハッサクの実を収穫した。（今年度は、例年収穫しているビワの実や、柑橘類が不作のため、全員に配付できる数が採れなかった。）

（2）人とつながる・学びをつなげる活動

- ・図書館司書が図書館の整備を進め、本への興味を高めるために目標を立ててたくさん本を読めるような掲示づくりをした。また、国語の授業に参加して、読み語りや本の紹介、ビブリオトークなど、多くの活動を通して児童への働きかけを行った。
- ・児童が安全に過ごせるように、校内整備員と地域学校協働本部が協力し、学校の敷地内を整備した。また、地域ボランティアによりメダカ観察池も整備され、児童の活動が豊かになるように働きかけた。

4 成果と課題

- ・植物の生長を通して、季節を感じたり自然に親しみを感じたりしながら活動することができた。収穫体験が初めての児童にとって、手触りや香りなど、五感で自然の恵みを感じられる良い機会となった。学校アンケートの保護者記入欄には、「栗拾いなど、家庭では経験出来ないことを経験させていただいてありがたく感じている」「勉強だけでなく、栗拾いなど普段あまり経験できない季節の行事がたくさん体験できて嬉しい」という声があがり、平和の森に関連した体験活動を今後も継続していきたい。
- ・果実の収穫は天気やその年の実のなり具合に左右されるため、実施時期の見定めが難しい。また、法面での活動となり、足元が悪いため、安全面の確保を検討したい。
- ・図書館司書の方が児童との関わりを通して、お薦めの本や他分野の本を紹介したり、読書の楽しさを伝えたりしたことで、児童の読書の幅を広げることができた。司書による授業の後、本に没頭する児童の姿も見られ、読書への意欲が高められている。
- ・校内整備員により、校内の草刈りや樹木の剪定を行ったことで、環境が整い、児童が落ち着いて生活できた。また、法面の整備にも尽力し、児童の収穫活動を行う上で大きな助けとなった。地域ボランティアも積極的に校内整備に協力し、メダカ観察池の清掃の後、きれいな水の中に泳ぐメダカたちを児童が楽しそうにみている姿が印象的で、今後も地域との連携を大切にしながら、児童の生活環境の整備を進めたい。

5 保護者・地域への情報発信の取組実績

- ・平和の森での学習や果実の収穫について、ホームページで記事にして紹介した。
9月、12月、2月（予定）
- ・保護者や地域には、平和の森での活動や、図書館司書による授業の様子、校内整備員が整備した場所の様子などについて、学校だよりを通して発信し、学校を支えている人々や変化を紹介した。